

13年11月26日
金融広報中央委員会
(事務局 日本銀行情報サービス局)

「金融に関する消費者アンケート調査」の結果

(「金融に関する消費者アンケート調査」について)

金融広報中央委員会(事務局:日本銀行情報サービス局)は、健全で合理的な家計運営のために、都道府県金融広報委員会、政府、日本銀行、地方公共団体、民間団体等と協力して、国民に対し中立・公正な立場から、暮らしに身近な金融に関する広報・消費者教育活動を行っている団体です。

本調査は、当委員会が、今後の金融に関する広報・消費者教育活動の参考とするため、個人の方を対象に金融全般に関する意識や考え方等について伺った調査です。

1. 調査時期・・・平成13年8月31日(金)～9月10日(月)
2. 調査対象・・・全国の20歳以上の男女個人4,000人
3. 回 率 率・・・66.0%(2,638人)
4. 調査対象者の抽出方法・・・層化2段階無作為抽出法
5. 調査方式・・・留置面接回収方式

調査結果については、金融広報中央委員会のインターネット・ホームページ(アドレス:
<http://www.saveinfo.or.jp/>)でも閲覧・ダウンロードすることができます。

以 上

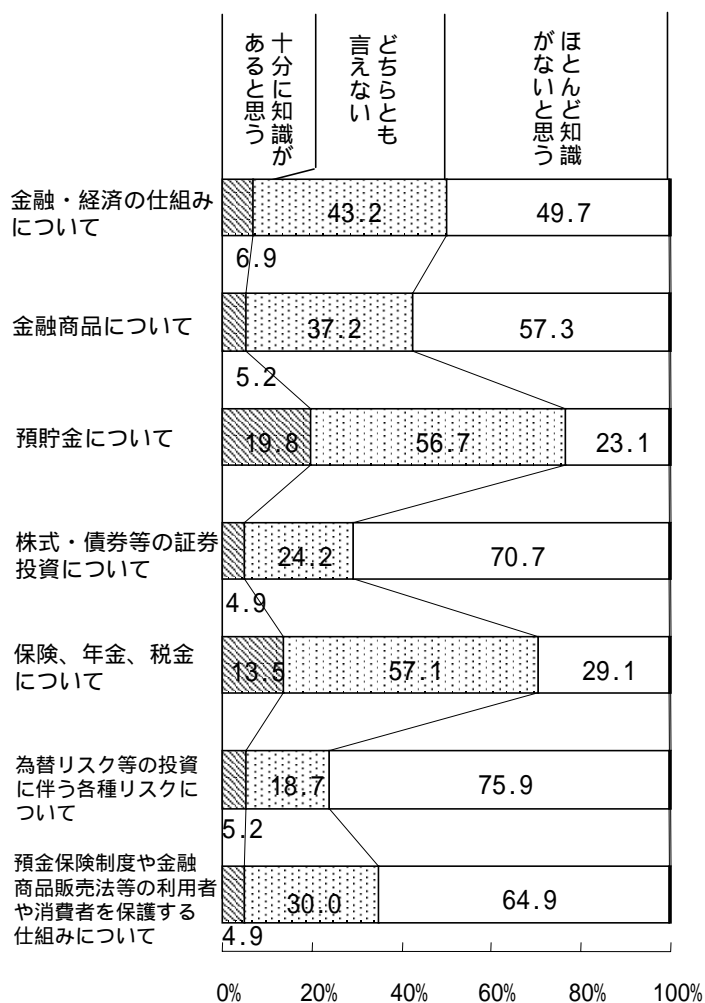
【調査結果の概要】

1. 金融に関する知識

- 「金融・経済の仕組み」について、「ほとんど知識がないと思う」との回答が全体の5割、「金融商品」についても、6割弱が「ほとんど知識がないと思う」と回答。「投資に伴う各種リスク」、「株式・債券等の証券投資」については、7割以上が「ほとんど知識がないと思う」と回答。

(図表1) 金融全般に関する知識の有無

(%、3つまでの複数回答) <問1(1)>

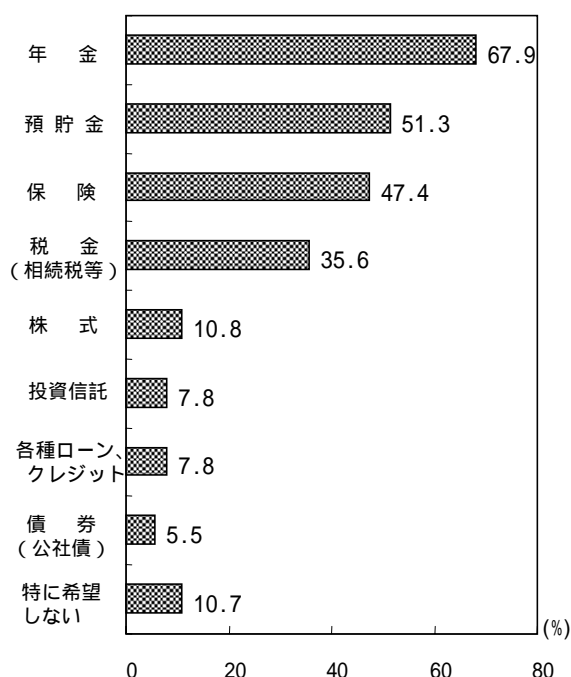


2. 金融情報に関する希望、活用方法

- ・ どのような分野の情報を希望するかについては、「年金」、「預貯金」、「保険」の順となり、「税金（相続税等）」、「株式」があとに続いた。
- ・ また、金融に関する知識・情報をどのように活用したいかとの問いに対しては、「健全で合理的な家計運営のため」、「金融を巡るトラブルや思わぬ損失から自分を守るため」との回答がそれぞれ6割弱、5割弱となった。

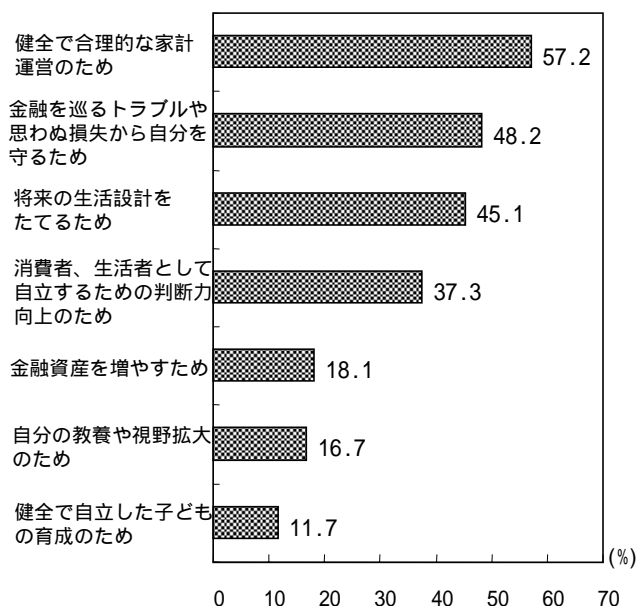
(図表2) 希望する金融情報の分野

(%、3つまでの複数回答) <問5>



(図表3) 金融知識・情報の活用方法

(%、3つまでの複数回答) <問6>

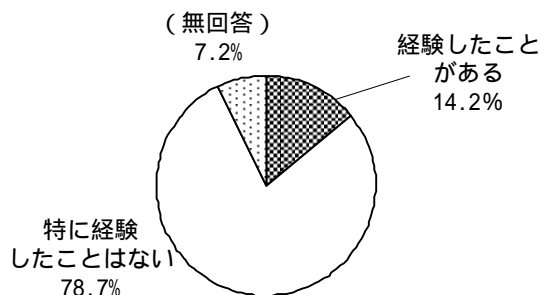


3. 金融トラブルなどの経験

- ・ 全体の1割強が何らかの金融トラブルを経験したと回答。

(図表4) 金融トラブルなどの経験

(%、複数回答) <問10(1)>

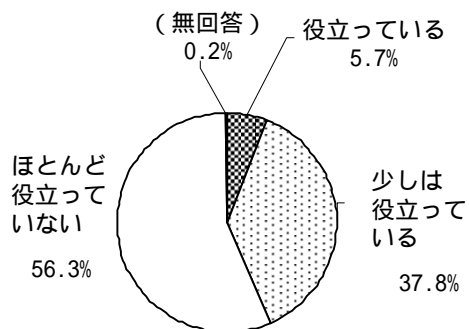


4 . 学校における金融教育に対する感想

- ・ 学校で受けた金融に関する教育について、「役立っている」との回答は全体の1割弱、「少しは役立っている」との回答は4割弱。
- ・ 学校に対して、金融に関する教育を「もっと積極的に取り組んでほしい」との回答は全体の6割弱、「現状程度で良い」は3割強となった。

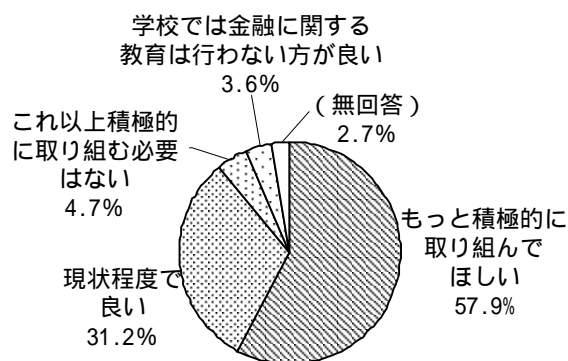
(図表5) 金融教育(学校)に対する感想

(%) <問11(2)>



(図表6) 学校での金融教育について

(%) <問13>



5 . 金融広報中央委員会に期待するもの

- ・ 金融広報中央委員会に対しては、国民に対し中立公正な立場から金融に関する広報・消費者教育を行うことを通じて、「さまざまな金融トラブルから身を守る消費者保護機関としての役割」を期待する先が5割強となり、金融トラブルを未然に防ぐための金融関連情報の提供に対するニーズがうかがわれた。このほか、「中立公正な立場を生かした、金融に関する公正な消費者教育機関としての役割」が4割強、「業界横断的な金融知識・情報等の提供機関としての役割」が3割強となった。

(図表7) 金融広報中央委員会に期待するもの

(%、3つまでの複数回答) <問16>

